

令和5年度第3回清川村総合計画審議会会議録

1. 日 時 令和5年10月10日（火）午後2時から
2. 場 所 役場庁舎3階 第2・3会議室
3. 出席者 【委 員】
城所英樹、笹原和織、今野郁夫、守屋 力、高野 進、山田美香
山口昌興、小林朱見、青木高人、山田仁美
（欠席） 山田和美、山田富夫、藤谷健一
【事務局】
岩澤政策推進課長、岩本主査、黄金井主事
【その他】
株式会社地域計画建築研究所（黒崎）
4. 内 容
 - 1 開 会
 - 2 第4次清川村総合計画基本構想（案）の答申
 - 3 第4次清川村総合計画前期基本計画（案）の諮問
 - 4 会長あいさつ
 - 5 議 題
第4次清川村総合計画前期基本計画（素案）について
 - 6 その他
 - 7 閉 会

政策推進課長 1 開 会

2 第4次清川村総合計画基本構想（案）の答申

城所会長 城所会長より、第4次清川村総合計画基本構想（案）について答申。

3 第4次清川村総合計画前期基本計画（案）の諮問

村 長 岩澤村長より、第4次清川村総合計画前期基本計画（案）について諮問。

4 あいさつ

村 長 岩澤村長あいさつ

5 議 題

「第4次清川村総合計画前期基本計画（素案）について」

事務局から、資料1を基に、第4次清川村総合計画前期基本計画（案）について説明。

【質疑応答】

- 委 員 目標指標については、現状値が空欄になっているが、あえて空欄なのか。だとしたら、なぜ空欄にしているのか。
- 事 務 局 目標指標は、現状、基本施策に対する指標であります。今後、皆様にご審議いただく過程で、基本施策に変更が生じた場合に、目標指標も変更となる場合があることも含め、指標自体の妥当性をご判断いただくため、現時点では空欄としております。なお、審議会での審議と庁内からの意見徴収を並行して進めていく予定であり、次の審議会においては、ご意見に基づく回答・修正案と併せて、目標指標についても数値を入れてお示ししたいと考えております。
- 委 員 満足度といった目標もあるが、どのようにして測っていくのか。アンケートなどを実施する考えはあるか。
- 事 務 局 満足度を指標として設定するとなれば、毎年度アンケートを実施する必要があると考えています。手法については、経費や事務負担も考慮し、どのように実施するのが良いか、現在検討しているところです。
- 委 員 前期基本計画の目標が今回新たに設定されているようだが、後期基本計画における目標は、現時点で考えはあるか。
- 事 務 局 現在の目標は、村づくりアンケートやワークショップなどで寄せられたご意見などを踏まえて策定しているものです。後期基本計画の策定時にも、こうした意見徴収を行ったうえで、5年後の社会情勢等も踏まえて策定していくことになると考えております。
- 委 員 前の計画から大きく変わったことは何か。
- 事 務 局 基本構想から通して列挙するとすれば、施策の大綱にあたる基本目標が5項目から6項目になっている点、前期基本計画の目標を設定している点、包括する事項を設定した点、重点項目を設定していない点が主な変更点となります。また、個別施策に関しては、分野の組み立ての段階において生涯学習の位置づけを変更している点や、新たな施策としてDXなどを位置付けている点となります。また、今回重点施策を定めなかったことで、体系図そのものが従前に比べてすっきりしています。

- 委員 DX を推進するにあたって、庁内組織を発足したとのことだが、コンサルを含め IT 関連に強い職員を抽出して組織しているものか。
- 事務局 基本的に専門知識を有する職員は庁内にはほぼいないので、知識の有無は問わず人選しているところです。
- 委員 事務作業をデジタル化すればそれが DX ではないので、せっかくやるのであれば、現場に目を向けた取り組みを進めていただきたい。
- 事務局 ご意見ありがとうございます。県でも支援体制を整えているそうなので、活用しながら、業務の効率化と利便性の向上の双方から取り組みを進めてまいります。
- 委員 こういった計画を策定するときは、費用対効果や歳出予算との整合などは考慮しないのか。DX にしても、システムを導入するにも費用がかかるが、それにより職員が 1 人減るなどの効果があれば納得ができる。
- 事務局 費用対効果などは、個別計画や最終的な政策決定、予算編成においては当然検証していく必要がありますが、総合計画においては施策全体の方向性を示すものであるもので、全く考慮しないというわけはありませんが、現段階において検証すべきものではないと考えています。

6 その他

- 事務局 事務局から、第 4 回審議会の開催日程について説明。

政策推進課長 7 閉 会